

～町田国際交流センターだより～

## 外国語サークル5月より始動!

今年も5月から外国語サークルが開催されていますので外国語部会の活動の概要を紹介します。

### 5言語 7クラスで運営

学習目的別に、中国語と韓国語は入門・初級の2クラス、英語中級、タイ語入門、スペイン語は各1クラスの5言語7クラスがあります。

授業は5月から来年2月までの月2回計18回で行います。(8月は休み)

各サークルは外国人講師と日本人コーディネーターにより運営されています。



スペイン語サークル



韓国語入門サークル

### 外国語学習は異文化理解の始まり

外国語部会の目的は外国語学習を通じた異文化体験であり、異文化理解に関心を持つ人たちの国際感覚を高めるための語学サークルです。通常の語学学校にあるような各種資格試験や受験対策は目的の対象外としています。このため講師には外国人を採用し、単なる言語の学習ではない各国の文化、習慣の理解を深めていきます。

また、一般的な言語学習の他に、料理教室、民族音楽、伝統遊びなどクラスにより様々な工夫を凝らしたイベントを企画しています。

このように外国語部会は言語の学習、参加者の親睦と異文化理解を深めるための場を提供しています。本年度の受講生募集は一旦終了しましたが、追加募集等がある場合は随時HPでお知らせします。

また、一度、実際の授業を受けてみたいという方は事前に事務局に予約することで1回のみ無料体験が可能ですのでご利用ください。



タイ料理教室(ソムタム)



韓国料理教室



中国二胡のクリスマスコンサート

ぼろんていえ

Volontiers! の由来: 誘われたとき、頼まれたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F  
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330

☎ <https://www.machida-kokusai.jp>  
✉ E-mail:info@machida-kokusai.jp





# KOKUSAI インタビュー

小さいころから国際協力に興味をもち、国際協力のプロを目指す!

森本 愛理 さん

【所属部会・活動年数】国際協力・理解部会 3年目

## Q 国際協力・理解部会に参加したきっかけは?

小学生の時、毎年ユニセフの募金集会があり、先生が「心の中で5秒を数えてください。この数えた5秒で貧困な地域にいる子供が一人死んでいます」と話され、その事実に衝撃を受けました。その頃から国際協力に興味を持ち始めました。高校で進路を決める際、大学は国際協力の道へ進もうと決意しました。同時に、町田国際交流センターのボランティア活動に興味を持ったのですが、大学に入って落ち着いたら参加しようと思っていました。



森本愛理さん

## Q 今、どんなことに興味や関心がありますか?

大学では国際学部で国際協力やNPO論を中心にジェンダー、宗教と経済の関係、国際ビジネス等幅広い知識を勉強しながら、いろんな価値観を学んでいます。ゼミの先生はイギリスの方で、他にヨーロッパや中国の方もいてグローバル色豊かです。

洋画の映画鑑賞が好きです。最近は実話に基づいた現代の社会問題に切り込んだ短編映画(洋画)に心を痛めることもあります。世界を知るといっていろいろ勉強になっています。

## Q 部会を通じてやっていきたいことや、ご自身が目指したいことは?

「夢広場」等のイベントを通じて、町田市や近隣地域に住む日本人に外国の文化を知ってもらい、町田で暮らしたり働いている外国の方の話聞いて、異文化について理解を深めてもらうことができたらよいなと思っています。また、若い人を含め幅広い方々にこのボランティア活動に興味をもってもらいたいです。

短編映画を見るようになって今まで知らなかった現代社会の問題を知るきっかけになったので、文章や堅苦しい言葉で伝えるだけでなく映画のようなエンタメなど絡めて伝えることも、日本だけでなく世界の問題について考える上で大切だと思っています。先ず現況について知ってもらうことが問題解決の一步になると考えています。



## 日本語教室で消防訓練

5月10日(金)、14日(火)、16日(木)日本語教室午前クラスで、町田消防署の方に来ていただき消防訓練を行いました。

最初に消火器の使い方をビデオ(英語字幕つき)を見ながら学びました。その後、訓練用の消火器を実際に使ってみました。学習者からは積極的に手が上がり、消火器を体験しました。実際にやってみると、ピンをぬくタイミングやホースを向ける高さなど迷うことが多いことがわかりました。

次は火事やけがをした時の通報の仕方です。同じように最初に動画を見て「119番」への通報の方法を学びました。その後、消防署の方と「119番」への電話のかけかたをやってみました。119番に電話すると「119番、消防署です。火事ですか?救急ですか?」と言われます。火事でしたら「火事です」と、怪我や病気でしたら「救急です」と答えます。その後、「何がもえていますか?」「住所はどこですか?」「どうしましたか?」「誰がけがをしましたか」などと聞かれます。積極的に手を上げて実際に話した学習者もその対応を経験してみました。家で火事になった時やけがをした時、病気になった時にも「119番」に通報ができるようになったと思います。

今回は実際に消防署の方に来ていただきお話を伺ったことでより実際の感覚を学ぶことができました。消防署の方も外国人にわかりやすく話すよう努力してくださいました。2回目の時には「やさしい日本語を学んできました」とおっしゃっていました。今回の企画は学習者にも消防署の方にもいろいろな気付きが生まれた時間になりました。町田消防署の方々ありがとうございました。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子



### 編集後記

長かった梅雨も明け猛暑を伴う本格的な日本の夏がやってきました。

皆さんの夏の過ごし方の計画も進んでいることと思います。また暑くてたまらないという方も、1年にしてみたら、暑い夏はたった2か月しかありません。考え方を変えて、2か月だけの暑さも楽しんでみたらいかがでしょう。でも熱中症などにはご注意ください。

今月から7回にわたり「ぼろんていえ」で国際交流センターの各部会のボランティアの方のインタビュー記事を掲出します。各部会の苦労話をとりましたが、そこまで紙面が足りないようで、現状から未来への希望といった方向での記事となりました。多くの専門知識を学んできた方々が、各部会のボランティアとして活躍されていることを改めて感じています。

## 生涯学習センター主催 ここまちベース地域活性化イベント 「なぞの深海生物をつくろう！」

自由に想像して描いた深海生物が不思議なサウンドに乗って深海を泳ぎます！身体を動かす遊びや特別映像とのコラボレーションを楽しむ体験型のワークショップです。

- 対象** 市内在住在学の小学生  
**日時** 8月4日(日) 1部：午後1時～午後2時30分  
 2部：午後3時～午後4時30分  
**会場** 町田第一中学校図書室「ここまちベース」ほか(町田市中町1-27-5)  
**講師** 東京造形大学教授 石賀 直之氏  
**定員** 各部20名 **参加費** 無料  
**申し込み** 申し込みフォーム(右記二次元コード)でお申し込みください。



### 問い合わせ

さがまちコンソーシアム事務局ここまちベース担当 TEL 090-1294-5366  
 (受付時間＝祝休日を除く火～土曜日の午前9時～午後5時)  
 町田市生涯学習センター TEL 042-728-0071

## 第24回 日本語学習支援ボランティア基礎講座 受講生募集

町田地域には、多くの外国籍の方が生活しています。このような人々が生活する上で、必要な日本語を学ぶお手伝いをしてみませんか。この講座では、日本語学習支援に必要なことを学びます。講座終了後、町田市内の日本語支援団体でボランティアとして支援する方を望みます。

- 期間** 10月1日(火)～11月19日(火)  
 14:00～16:00 計8回  
 自由参加2回：11月26日(火)、  
 12月3日(火)  
**会場** 町田国際交流センター 講習室  
**定員** 24名(応募者多数の場合は抽選)  
**受講料** 会員15,000円  
 非会員20,000円  
**申込方法** ホームページ  
 (www.machida-kokusai.jp/)  
 からお申し込みください。  
**申込期間** 8月5日(月)～9月6日(金) 必着  
**決定通知** 9月中旬



回	実施日	講座タイトル
1回	10月1日(火)	地域日本語教室は コミュニケーションの場です
2回	10月8日(火)	初めて学ぶ人との コミュニケーション
3回	10月15日(火)	日本語の基礎Ⅰ(動詞・助詞)
4回	10月22日(火)	日本語の基礎Ⅱ(形容詞)
5回	10月29日(火)	生活日本語の支援Ⅰ(初級)
6回	11月5日(火)	生活日本語の支援Ⅱ(中・上級)
7回	11月12日(火)	子どもへの支援
8回	11月19日(火)	教科書を使って会話を広げる工夫